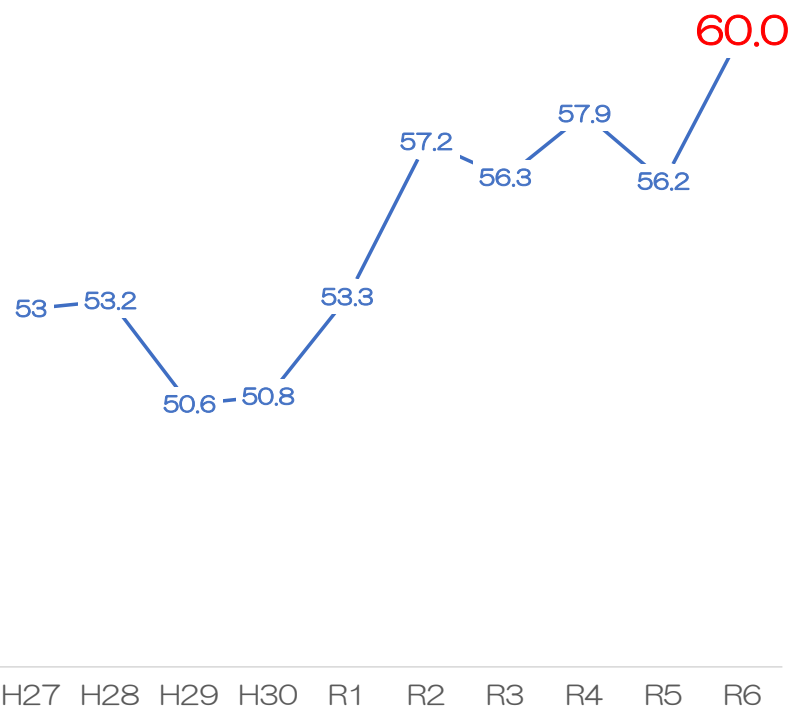


スポーツ実施率について（令和6年度県政世論調査結果）

最新値と傾向について

令和6年度県政世論調査の結果、「週に1回以上スポーツをする成年の県民の割合」は**60.0%**であり、前年度の56.2%から3.8ポイント増加した。過去10年の値では、増加傾向にある。

週に1回以上スポーツをする成年の県民の割合（過去10年）



「週に1回以上スポーツをする成年の県民の割合」について

埼玉県5か年計画（令和4年度～8年度）と埼玉県スポーツ推進計画（令和5年度～9年度）は、共に「週に1回以上スポーツをする成年の県民の割合」を65.0%以上とすることを施策指標としている。

同指標の「スポーツ」は、意識的に体を動かすことを幅広くとらえており、散歩やウォーキングの他、子供との体を使った遊びや、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすことも含まれている。

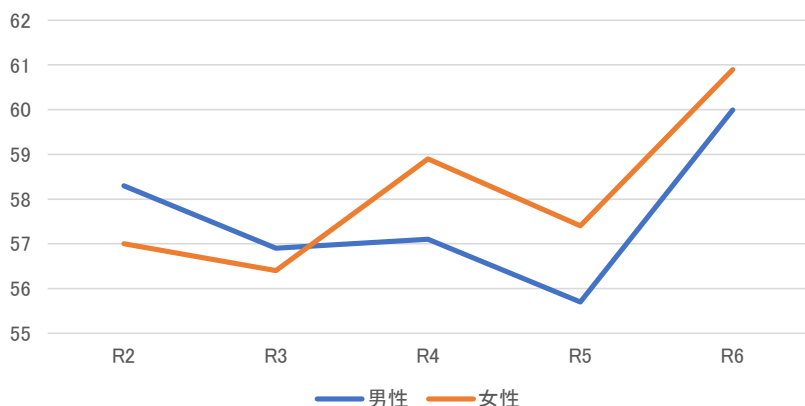
（参考：県政世論調査調査票より抜粋）

※スポーツ・レクリエーション活動には、以下のような活動も含めます。

散歩・ウォーキング（ぶらぶら歩き、一駅歩きを含む）、子供との体を使った遊び、通勤や家事などの日常生活の中で意識的に体を動かすこと、階段昇降、ジョギング・ランニング、水泳、体操（軽い体操・ラジオ体操を含む）、ヨガ・バレエ、登山（トレッキングを含む）、ハイキング、ボウリング、ゴルフ、トレーニング（筋力・その他運動器具を使った運動）、釣り、自転車・サイクリング、ゲートボール、ダンス（フォークダンス、民謡踊りを含む）、バーチャルスポーツ（体の動きを伴うコンピューターゲーム）など

スポーツ実施率について（令和6年度県政世論調査結果）

性別別推移



性別別推移について

令和3年度調査までは男性の値の方が高かったが、令和4年度に逆転した。
以降は女性の値の方が高く、男女共に増加傾向にはあるものの、女性の増加率の方がより高くなっている。

年代別推移について

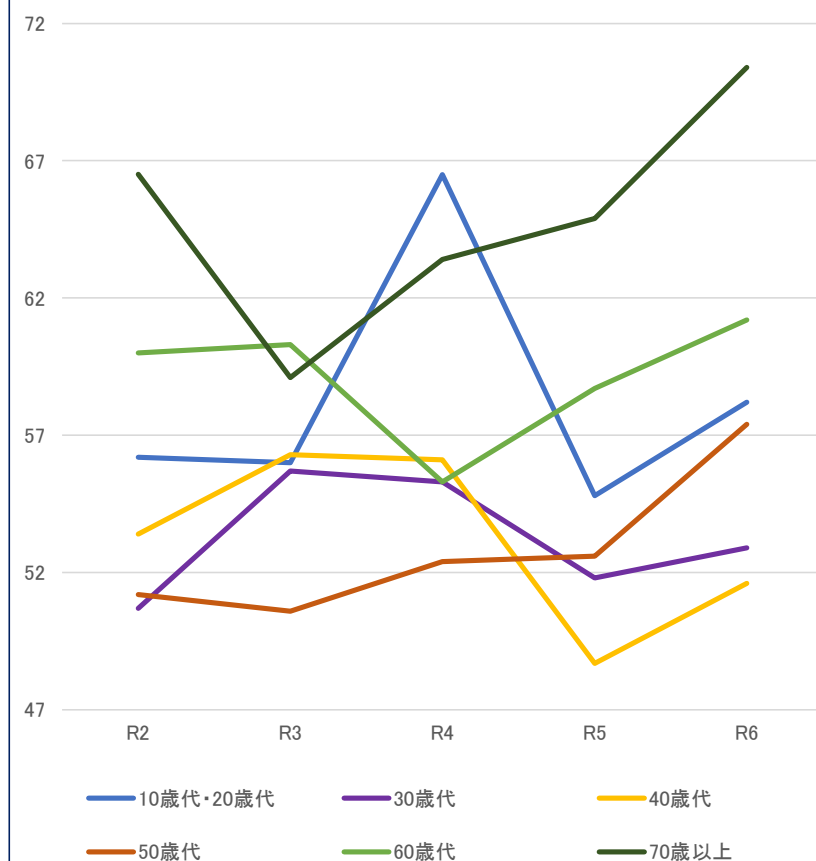
年代別では、70歳以上の値が高く、増加傾向にある。
10歳代・20歳代及び60歳代の値は並みの水準にあり、横ばい傾向である。
50歳代の値は低い水準にあったが、増加傾向にある。
30歳代の値は低い水準にあり、横ばい傾向である。
40歳代の値は低い水準にあり、減少傾向にある。

年 代	R 5	R 6	増
10歳代・20歳代	54.8	58.2	3.4
30歳代	51.8	52.9	1.1
40歳代	48.7	51.6	2.9
50歳代	52.6	57.4	4.8
60歳代	58.7	61.2	2.5
70歳以上	64.9	70.4	5.5

R5・R6比較

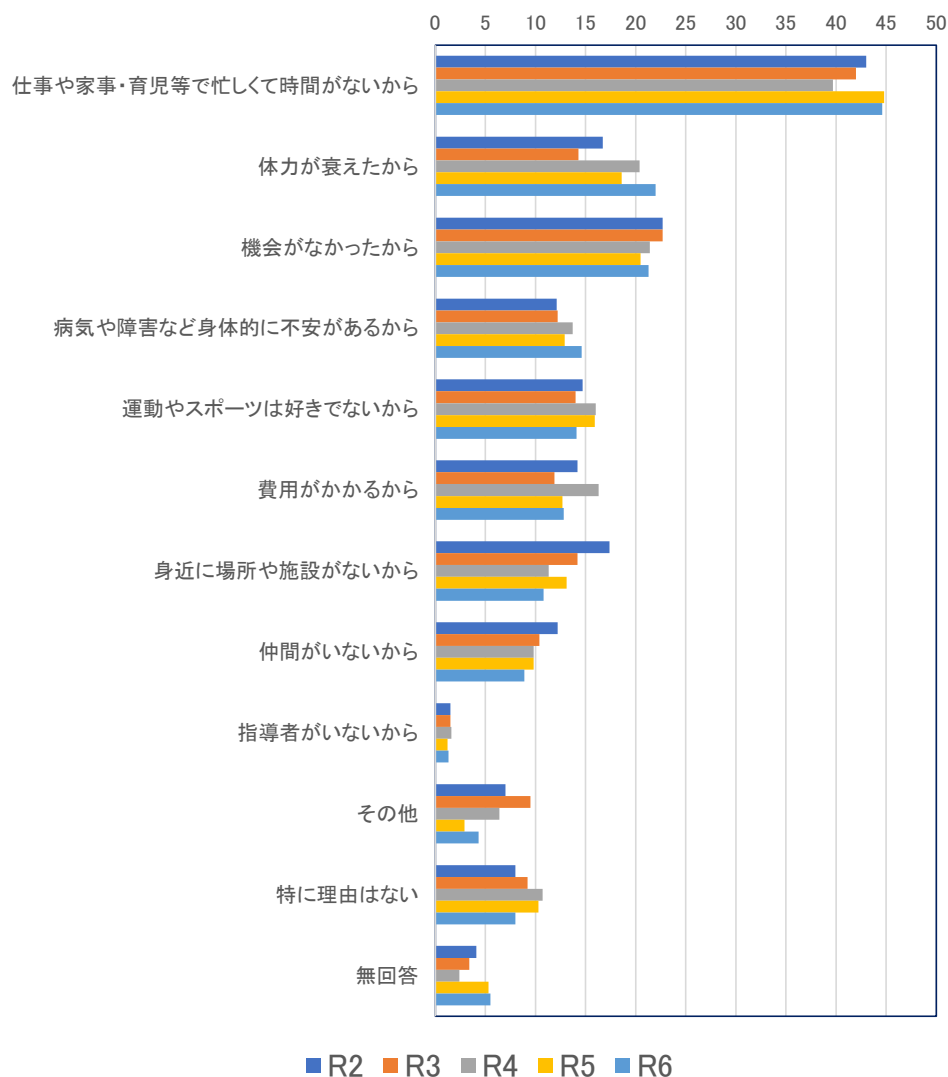
全年代増加しているが、特に50歳代、70歳以上の伸びが大きく、全体の率を押し上げている。
一方で30歳代、40歳代は値が低い。

年代別推移



スポーツ実施率について（令和6年度県政世論調査結果）

スポーツ・レクリエーション活動する機会がなかった理由 （週に1回未満）



スポーツ・レクリエーション活動する機会がなかった理由について

週に1回以上スポーツをする機会がなかった層に、その理由を聞く調査項目（複数回答可）の集計結果によると、令和6年度調査で最も回答が多かった回答は「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」であり、44.6%であった。次いで、「体力が衰えたから（22.0%）」、「機会がなかったから（21.3%）」となっている。

年代別の回答率について

令和6年度の調査結果より、スポーツ実施率と「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」を年代別の回答率で比較すると、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」と回答した率が高い年代ほどスポーツ実施率が低く、低い年代ほどスポーツ実施率が高い。

この傾向は、令和5年度の調査結果でも同様である。

令和6年度調査結果：年代別回答率		10歳代・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
スポーツ実施率		58.2	52.9	51.6	57.4	61.2	70.4
仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから		55.8	64.3	58.9	51.4	34.9	9.9
令和5年度調査結果：年代別回答率		10歳代・20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
スポーツ実施率		54.8	51.8	48.7	52.6	58.7	64.9
仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから		58.5	67.2	63.6	48	34.6	14.1

スポーツ実施率について（令和6年度県政世論調査結果）

スポーツ実施率向上のために

県民のスポーツ実施率は上昇傾向にあるが、未だ目標の達成には至っていない。

目標の達成のためには、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がない」ことを主な理由としてスポーツ実施率が低くなっている働き盛り・子育て世代に対するアプローチが重要である。

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がない」働き盛り・子育て世代に対するアプローチ

県内各地域での親子を対象としたイベントの実施

県内の様々な地域でイベントを実施することで、忙しい人でも身近で気軽にスポーツ体験ができる機会を提供する。

プロ・トップチームと連携した親子スポーツ教室

プロ・トップチームと連携し、子育て世代が参加しやすい親子スポーツイベントを実施する。

大型商業施設でのスポーツ体験

大型商業施設などの集客施設でスポーツ体験イベントを実施することで、普段スポーツをしない層にもスポーツ体験の機会を提供する。

